

## 総合評価方式の実施状況について(平成23年度(4月～3月)の契約実績)

※平成23年11月1日に特別簡易型の評価基準を改正している。

項 目	特別簡易型			簡易型	標準型	計	参考 H22計	結果(備考)	
	改正前	改正後	計						
1. 対象件数(件)	357	110	467 (74%)	140 (22%)	28 (4%)	635 (100%)	1,232 (100%)	・東日本大震災の影響でH23は総合評価方式の件数が大幅に減少した。ただし、施工体制事前提出方式は2倍になった。	
低入札価格調査制度	305 (85%)	98 (89%)	403 (86%)	104 (74%)	16 (57%)	523 (82%)	1,166 (95%)		
施工体制事前提出方式	52 (15%)	12 (11%)	64 (14%)	36 (26%)	12 (43%)	112 (18%)	66 (5%)		
2. 落札率(%)									・条件付一般競争入札(価格競争)に比べやや低い傾向はH22と同じだが、率は上昇している。  ※平均落札率は、落札率の単純平均を記載している。(加重平均(=落札額の合計/予定価格の合計)ではない。)
平均	91.43	91.26	91.39	91.11	90.82	91.30	90.69		
最高	99.86	99.66	99.86	99.86	99.54	99.86	100.00		
最低	85.59	86.43	85.59	83.70	82.98	82.98	82.53		
※条件付一般競争入札(価格競争)の平均							92.44	91.74	
3. 入札参加者数(者)									・条件付一般競争入札(価格競争)に比べ著しく少ない傾向はH22と同じだが、減少している。
平均	4.0	3.8	3.9	3.4	2.8	3.8	5.6		
最大	16	14	16	13	8	16	25		
最小	1	1	1	1	1	1	1		
※条件付一般競争入札(価格競争)の平均							7.6	9.6	
4. 加算点(点)	(20点)	(10点)	(20点)	(35点)	(55点)	(75点)			
平均	14.2	7.4	—	22.8	30.9	—	—	・平均点は、満点に対して、特別簡易型は74%、簡易型は65%、標準型は56%となっている。	
最高	20.0	10.0	—	34.5	52.5	—	—		
最低	0.0	0.5	—	1.5	4.0	—	—		
5. 評価基準価格を下回った件数(件)…評価基準価格を下回った入札参加者があった案件									・評価基準価格を下回った事例の発生率はH22と比べて少なくなった。  ※入札額が評価基準価格を下回った場合、入札額ではなく評価基準価格で評価する。
a 件数	178	43	221	41	9	271	668		
件数/実施件数	49.9%	39.1%	47.3%	29.3%	32.1%	42.7%	54.2%		
b 落札者逆転	61	19	80	4	1	85	221		
b/a 落札者逆転件数/件数	34.3%	44.2%	36.2%	9.8%	11.1%	31.4%	33.1%		
6. 価格逆転件数(件)…価格(入札額)が1位以外で落札者となった案件									・改正後の特別簡易型では、4ポイント程度の減少は見られる。11月以降に受注した大部分の工事の成績点への反映は、平成24年度以降になると考えられるので、引き続き検証が必要である。
件数	202	58	260	62	14	336	767		
逆転件数/実施件数	56.6%	52.7%	55.7%	44.3%	50.0%	52.9%	62.3%		

## 総合評価方式の実施状況について(平成23年度(4月～3月)の契約実績)

※平成23年11月1日に特別簡易型の評価基準を改正している。

項目	特別簡易型			簡易型	標準型	計	参考 H22計	結果(備考)	
	改正前	改正後	計						
7. 落札者の状況(件)									
価格=1位	127	41	168	62	12	242	356	・価格1位の者が落札者になった件数が299件、47.1%である一方、加算点が1位の者が落札者になった件数が493件で77.6%となっている。いずれの場合も加算点=1位が有利である。	
加算点=1位	(35.6%)	(37.3%)	(36.0%)	(44.3%)	(42.9%)	(38.1%)	(28.9%)		
価格=1位	28	11	39	16	2	57	109		
加算点=2位以下	(7.8%)	(10.0%)	(8.3%)	(11.4%)	(7.1%)	(9.0%)	(8.8%)		
価格=2位以下	153	36	189	50	12	251	556		
加算点=1位	(42.9%)	(32.7%)	(40.5%)	(35.7%)	(42.9%)	(39.5%)	(45.1%)		
価格=1位以外	49	22	71	12	2	85	211	・H22と比較して調査基準価格を下回った件数は減少し、排除した割合が増え、結果として低入案件で契約した件数が大幅に少なくなった。  ※低入札対策として、配置技術者の複数配置等を義務付けている。(対応困難の場合、落札者決定前の辞退可。施工体制事前提出方式も同じ。)	
加算点=1位以外	(13.7%)	(20.0%)	(15.2%)	(8.6%)	(7.1%)	(13.4%)	(17.1%)		
8. 低入札価格調査の状況									
調査基準価格を下回った件数	53	14	67	12	1	80	301		
	(17.4%)	(14.3%)	(16.6%)	(11.5%)	(6.3%)	(15.3%)	(25.8%)		
失格基準による排除件数	20	7	27	4	0	31	107		
直接工事費基準	13	6	19	3	0	22	59		
	(65.0%)	(85.7%)	(70.4%)	(75.0%)	—	(71.0%)	(55.1%)		
共通仮設費基準	12	3	15	3	0	18	49		
	(60.0%)	(42.9%)	(55.6%)	(75.0%)	—	(58.1%)	(45.8%)		
現場管理費基準	9	3	12	1	0	13	51		
	(45.0%)	(42.9%)	(44.4%)	(25.0%)	—	(41.9%)	(47.7%)		
一般管理費基準	3	1	4	0	0	4	27		
	(15.0%)	(14.3%)	(14.8%)	(0.0%)	—	(12.9%)	(25.2%)		
辞退による排除件数	30	8	38	5	0	43	117		
調査による排除件数	3	0	3	1	0	4	1		
低入案件のうち排除した割合	84.9%	100.0%	88.1%	83.3%	0.0%	86.3%	65.4%		
低入案件のうち契約した件数	8	0	8	2	1	11	104		
	(15.1%)	(0.0%)	(11.9%)	(16.7%)	(100.0%)	(13.8%)	(34.6%)		

総合評価方式の実施状況について(平成23年度(4月～3月)の契約実績)

※平成23年11月1日に特別簡易型の評価基準を改正している。

項目	特別簡易型			簡易型	標準型	計	参考 H22計	結果(備考)	
	改正前	改正後	計						
9. 施工体制事前提出方式における失格基準該当件数(件)など									
失格基準(⑤を除く)による排除件数	7 (13.5%)	0 (0.0%)	7 (10.9%)	2 (5.6%)	1 (8.3%)	10 (8.9%)	6 (9.1%)	・H22では辞退はなかったが、H23では特別簡易型で9件発生している。 ・詳細調査をして排除した案件はH22、H23ともなかった。  ※入札額にかかわらず失格基準①～④を適用し、該当した場合、失格となる。 ※詳細調査基準価格を下回った場合はさらに失格基準⑤(純工事費基準)を適用し、該当した場合、詳細調査の対象となる。	
失格基準①(現場管理費基準)	7 (100.0%)	0	7 (100.0%)	2 (100.0%)	1 (100.0%)	10 (100.0%)	6 (100.0%)		
失格基準②(一般管理費基準)	0 (0.0%)	0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)		
失格基準③(元下適正化基準)	0 (0.0%)	0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)		
失格基準④(元下適正化基準)	1 (14.3%)	0	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)		
上のうち、詳細調査基準価格を下回った件数	4	0	4	0	0	4	4		
失格基準⑤(純工事費基準)該当件数	0	0	0	1	1	2	4		
辞退による排除件数	4	5	9	0	0	9	0		
詳細調査による排除件数	0	0	0	0	0	0	0		
詳細調査基準価格を下回って契約した件数	5 (9.6%)	0 (0.0%)	5 (7.8%)	3 (8.3%)	1 (8.3%)	9 (8.0%)	8 (12.1%)		
10. 評価項目毎の入札参加者得点割合(%)									
企業の技術力	施工能力	(4点) 83.8	(2点) 87.3	84.6	(1点) 85.3	(1点) 81.8	84.6	81.2	・昨年度と同程度となっている。 ・特別簡易型における企業の工事成績の評価は、11月1日から、同一発注種別の直近の工事成績とし、減少した。  ※特別簡易型においては、優良工事表彰実績を11月1日から評価対象外とした。
	工事成績	(4点) 68.9	(1.5点) 57.3	66.3	(1点) 58.0	(1点) 68.8	64.7	64.8	
	優良工事(1点)	9.9	—	9.9	15.2	20.8	11.6	12.9	
	品質管理(0.5点)	—	—	—	77.9	81.8	78.4	80.0	
	技術者確保数(0.5点)	—	—	—	86.0	79.2	85.1	85.3	
	○小計	(9点)	(3.5点)		(4点)	(4点)			
配置技術者の技術力	施工能力	—	(0.5点) 59.5	59.5	(1点) 54.9	(1点) 46.8	56.2	60.8	・H22と比較して得点割合が減少している。  ※特別簡易型においても、配置技術者の施工能力、工事成績を11月1日から評価対象とした。
	工事成績	—	(0.5点) 36.8	36.8	(1点) 30.9	(1点) 41.6	34.3	35.8	
	優良工事(1点)	—	—	—	4.8	3.9	4.7	6.0	
	資格保有(0.5点)	—	—	—	70.8	75.3	71.4	72.4	
	○小計		(1点)		(3.5点)	(3.5点)			

資料3

総合評価方式の実施状況について(平成23年度(4月~3月)の契約実績)

※平成23年11月1日に特別簡易型の評価基準を改正している。

項目	特別簡易型			簡易型	標準型	計	参考 H22計	結果(備考)			
	改正前	改正後	計								
企業の地域社会に対する貢献度	障がい者雇用(0.5点)	—	—	—	55.5	48.1	54.5	51.4	・「障がい者雇用」~「新分野進出」については、年々得点割合が高くなっている。		
	安全管理(0.5点)	—	—	—	52.6	58.4	53.4	51.5			
	環境配慮(0.5点)	—	—	—	49.1	55.8	50.0	44.2			
	県内業者活用(1点)	—	—	—	90.4	67.5	87.2	85.3			
	子育て応援(0.5点)	—	—	—	61.0	41.6	58.3	46.9			
	仕事と生活の調和(0.5点)	—	—	—	72.4	58.4	70.5	59.3			
	新分野進出(1点)	—	—	—	61.8	46.8	59.7	49.7	・「同一市町村内工事実績」、「入札参加者の所在地」及び「ボランティア」は、高い得点割合で定着している。		
	同一市町村内工事実績	(2点) 90.3	(1点) 90.7	90.4	(2.5点) 86.0	(2.5点) 77.9	89.1	84.7			
	入札参加者の所在地	(2点) 87.4	(1点) 90.7	88.2	(2.5点) 86.0	(2.5点) 76.6	87.4	84.4			
	ボランティア	(1点) 82.9	(0.5点) 87.8	84.0	(2点) 83.3	(2点) 74.0	83.5	77.5			
	消防団継続加入	(1点) 73.4	(0.5点) 79.5	74.8	(1点) 78.1	(1点) 74.0	75.4	63.4			
	選択項目(2項目選択)	災害出動	(2.5点) 27.9	(1.25点) 29.8	28.3	(2.5点) 40.7	(2.5点) 39.0	31.2		38.6	※被災者等の雇用は、東日本大震災対応の評価項目である。 ※被災企業等の活用(当該工事で下請契約を行うこと)は、東日本大震災対応の評価項目である。 ※除雪・維持補修は一般土木工事又は舗装工事の場合に対象。
		災害応援協定	(2.5点) 51.4	(1.25点) 47.8	50.6	(2.5点) 39.9	(2.5点) 31.2	47.8		33.2	
		新卒・離職者の雇用実績	(2.5点) 12.4	(1.25点) 16.6	13.3	(2.5点) 16.5	(2.5点) 33.8	14.6		15.9	
		雇用の維持・確保	(2.5点) 13.9	(1.25点) 21.2	15.6	(2.5点) 9.6	(2.5点) 6.5	14.1		16.0	
除雪・維持補修	(2.5点) 60.4	(1.25点) 58.1	59.9	(2.5点) 57.0	(2.5点) 27.3	58.2	53.6				
○小計	(11点)	(5.5点)		(17.5点)	(17.5点)						
技術提案	施工計画の適切性(10点)	—	—	—	61.0	55.8	60.3	65.3	※得点率を表示。		
	課題(テーマ)に対する提案	—	—	—	—	53.1	53.1	46.5			
	○小計				(10点)	(30又は50点)					
備考	<p>項目毎の得点状況に大きな変化は見られない。</p> <p>平成23年11月1日に特別簡易型の評価基準を改正したが、11月以降に受注した大部分の工事の成績点への反映は、平成24年度以降になると考えられるので、引き続き検証を行う必要がある。</p>										